

## 2026年度

## 国語

最初に、以下の注意事項をよく読んでください。

1. 問題冊子は監督者の指示があるまでは開いてはいけません。
2. 監督者の指示にしたがって、解答用紙に受験番号と氏名を記入してください。問題冊子は受験番号のみを記入してください。
3. 試験問題の内容に関する質問には答えられません。それ以外の用事があるときは手をあげてください。
4. 受験中気分が悪くなったときは、監督者に申し出てください。
5. 漢字で書くべきところは漢字で書いてください。

受験 番号	
----------	--

\*解答に字数制限がある場合は、句読点なども字数として数えます。

【一】 次のそれぞれの問いに答えなさい。

問一 ①～⑥の——線部のカタカナを漢字に直しなさい。

- ① 意見をソ<sup>ン</sup>チヨウ<sup>ウ</sup>する。
- ② 星をカ<sup>ン</sup>サツ<sup>ス</sup>する。
- ③ 昨日の試合で見事にア<sup>ッ</sup>シヨウ<sup>シ</sup>た。
- ④ おふろが使えないので、近所のセ<sup>ン</sup>トウ<sup>ウ</sup>へ行く。
- ⑤ 外出をユ<sup>ル</sup>された。
- ⑥ 首相が新たにソ<sup>カ</sup>ク<sup>ス</sup>る予定だ。

問二 次の中から意味が似ている言葉を二つ選び、記号で答えなさい。

- ア、才能      イ、工夫<sup>くふう</sup>      ウ、効能      エ、知識      オ、能力

問三 次の□の中のひらがなを漢字にしたとき、その漢字の部首名をひらがなで答えなさい。

情報をし<sup>ゆう</sup>約し、ポスターを作成した。

問四 次の文の空らん<sup>らん</sup>に適切な漢字を入れて、四字熟語を完成させなさい。

枝<sup>し</sup>末□にこだわらず、重要なことを先に決めよう。

問五 次の文はことわざである。( )に入る漢字の総画数を漢数字で答えなさい。

( )に腹は代えられない

【二】 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

小学生の葉央は、「中川ペルセウス」という野球チームのキャプテンをしている。葉央の弟の友起（トモ）は、足の病気で手術をして、激しい運動ができない。葉央は友起を気づかかって野球の話をしないようにしていたが、友起と関係がぎくしゃくしてきてしまう。ある日、葉央は元チームメイトで、今は違うチームに所属するヤヤにメールで友起のことを相談した。葉央はヤヤから、友起に野球の話をしたらどうかと助言を受けた。

▼ ヤヤへ

すごいよ。ヤヤって遠くにいるのにおれが見えるの？ 千里眼とかいうやつ？

実はちよどぎ、トモとあんまりしゃべらなくなってたところ。

やり返す、っていうわけじゃないけど、向こうがそっけないならこっちもさわらないようにしとこうかな、みたいな。

部屋を仕切るカーテンを開けなくなってたんだ。

でも、メッセージをもらって、思いきってカーテンを開けてみた。

トモは本を読んでいた。顔を上げてこっちを見たから、いったんだ。

① 今度の土曜、ペルセウスの練習、見に来る？」

つつけんどんな返事が来ても、おどろかない覚悟をしてたら、トモがにこつと笑ったんだ。

「行っているの？」

「あ、うん。」

思いがけなかった。あわてて付け加えたんだ。

「じゃあ、お父さんかお母さんに車で送ってもらったほうがいいよな。」

ほら、うちから運動公園までは歩いて二十分以上かかるだろ。早めにたのんでおかないと、都合がつかないっていわれるかもしれないから。そしたらトモはいったよ。

「歩く。」

「わかった。」

トモはまた本を読み始めたよ。

おれ、トモはもう野球に興味ないと思ってた。あつたとしても、自分はまだスポーツできないから、人がやってるのを見たくないだろうな、って。

先回りして、いろいろと考えてあげてたつもりだったけど、<sup>②</sup>そういうのいらなかったんだな。

ほんと、ヤヤありがとう！

お返しに、おれはそっちに行つて、菅原すがはらと木口きぐちつてやつに説教したいけど、そうだ、やり返さないだった。

ピッチングのすごさでねじふせようぜ。次の試合もがんばれ！

葉央より

葉央はいつもよりも十五分早く家を出た。トモはゆっくり歩くから。お父さんもいっしょだ。

川沿いの道を、上流に向かって歩く。コンクリートの堤防ていぼうの間を、水が流れていく。風情ふぜいのない、街中の川だ。でも、どこに岸があつて、雑草が生えている。カワウが羽を広げていた。

踏切ふみきりが近くなつてきたところで、お年寄りとすれちがった。腰こしがほぼ九十度曲がつている。車輪Iのついたキャリーバッグをつえ代わりにして、X両手で支えて歩いている。

葉央たちは軽くおじぎをした。でもその人はこつちを見なくて、そのままゆっくりゆっくり歩いていった。

「三保さんだ。ずいぶん年取られたな。」

はなれてから、お父さんがつぶやいた。

「え、三保さんって、子ども会の会長やってたお婆さん？ 同じ人だって、わからなかった。」  
葉央がいうと、お父さんはうなずく。

「二、三年前まではお元気だったのに、つらⅡ~~~~~そうだよな。みんなに今のすがたを見られるのもきつと苦しいと思うよ。車だつたら、お送りできたんだけども。」

踏切が鳴りだして遮断機しゃだんきが下りた。電車を待っているとき、トモが 1 いった。

「そういうふうに見られるのが一番つらいんじゃないかな。」

「え？ さっきの三保さんのことかい。」

お父さんがきいた。トモは 2 した顔でうなずく。

「どうして、つらいつて決めつけるんだらう。腰が曲がった人はだれでもつらいわけ？ もしかしてうれしくて、心はぴよんぴよん飛びはねてるかもしれないよ？」

「まさか、それはない——。」

「ずっと入院してたり、家で病気で寝てたりして、やっと治って外に出られて、歩いて、もう最高だーっ、と思ってるかもしれない。」

「③え。」

「まっすぐ、すっすくと歩くのだけが幸せで、ゆっくり歩いたり、腰が曲がったりしたら不幸って決まってるわけ？」

「あ、なるほどな。そういう考え方もあ——。」

お父さんの返事は、やってきた電車の音にかき消されて聞こえなかった。トモがもうひと言何かいったけれど、それも耳に届かなかった。

でも、④葉央はきき返さなかった。頭の中を猛烈もうれつにくるぐると考えが巡めぐっていたから。

そうか！ だからトモはおこっていたんだ。

自分が前に、トモに話したことを、葉央は思い出ししていた。

野球チームのトラブルなんか、くらべものにならないほど、トモは大変で、苦勞してつらかったはず、と葉央はいった。でも、そう決めつけてしまうことで、トモは野球の話ができなくなっていたのではないか。

⑤ 松葉づえがなくなつたとはいえ、まだスポーツはできない。それはかわいそうだ、と葉央は思っていた。

でも、トモは逆のことを考えていたのでは？ 前は痛くてたまらなかつたのに、今は痛みなしで歩けるから、きつとすぐくうれしいんじゃないだろうか。ゆつくりだとしても別にかまわない、と。野球をやれなくても、見に行きたい！ と思っているのに、家族も周りも、かわいそう、という態度だから、それは違うと伝えたかつたのではないか——!?

踏切をわたつて、運動公園の第一グラウンドの前を通つて第二グラウンドに着くと、すでにみんな、準備運動で走っていた。

「居林監督！ 今日は見学の男子一名、連れてきました。」

葉央が元気な声を出すと、監督は振り返つて、

「おおう、友起じゃないか！」

と、目じりにしわをいっぱいつくつて笑っている。

「ぼく、見学だけじゃなくて、手伝えるよ。」

トモがいう。お父さんと葉央は思わず顔を見合わせたか、監督はうなずいた。

「よおし、じゃあ、あとでノックをやるから、友起はわたしにボールをわたす係やつてくれるか？」

「オッケー！」

トモの声が（ A ）。

そうか。周りが全部決めちゃわないで、本人にきけばいいんだ。やれること、やれないこと。トモがだれよりもわかっているのだから。

帰っていくお父さんを見送つてから、葉央はベンチに荷物を置いた。

そのときだった。別の声が聞こえた。

「あの、おれも見学……。」

声に聞き覚えがありすぎる。葉央はぐるんと首を回した。

やっぱり、港斗みなとだった。

「なんでだよ。パープルソックスに行って、運命の監督に習ってるんじゃないのかよ。」

葉央は、そうツッコまずにはいられなかった。ランニングしていた純平じゅんぺい、悠ゆう、明文あきふみ、総そう、圭人けいとが、港斗みなとに気づいてこちらに向かって走ってくる。

「運命の監督はやっぱり、ここにいた。」

そういって、港斗は上目づかいでちろっと居林監督を見ている。

その様子がなんだかおかしくて、葉央は笑ってしまった。

監督も（ B ）をうかべている。

「うちは、来る者もこばまず、去る者も追わずだから。」

なぜもどってきたのか、監督は理由をきかなかった。

メンバーが勢ぞろいしたところで、

「前にいた仲間がもどってきたぞ。」

と、トモと港斗を同じような感じで紹介しょうかいした。⑥ 港斗は頭をかきながらうつむき、トモは笑えみをうかべながら、見覚えのある先輩せんぱいに手を振った。

「じゃあ、いつもどおりキャッチボールから始めようか。」

監督がいったので、葉央は港斗のスウェットシャツのそでをつかんだ。

「やろうぜ。」

「お、おお。」

「いつもと違うキャッチボール。」

「ん？」

「ガチで投げるんだ。本当に試合中の球みたいに。」

「何それ。」

「ヤヤが入った新しいチームではそうやってるんだって。キャッチボールにめちゃめちゃ力入れてるんだって。教えてくれたんだ。」

「へー、ヤヤが。」

ふたりで距離きまりを置いて向かい合った。まず葉央が港斗に投げる。これは手慣らしの軽く投げるやつ。続いて港斗。同じように軽い球が返ってくる。葉央は、

「ストレート、胸どまんなか。」

とあって、強く投げた。

「おおおー。」

受けた港斗は、一歩、あとずさりしている。

「ようし、おれも、あ、やべ。」

港斗が投げ返してきた球は、すっぱむ抜けて葉央の頭の上を飛んでいってしまった。葉央が球を取りに行こうとしたときだった。転がるその球を拾ってくれた人がいた。トモだ！ みんなの球拾いをしようと、グラウンドの三塁側さんるいがわにいつの間にか歩いていったみたいだ。

投げられるのかな。転がしてもいいぞ。

そう思ったけど、葉央はいうのをやめた。投げられるか投げられないか、決めるのはトモだ。

「おーい、トモ！ こっち。」

「オッケー。」

トモは投げ返してきた。足に重心をかけずに腕だけ振って投げてきたので、その球はツーバウンド、スリーバウンドしたけれど、葉央のところにもどってきた。

「ナイス！ トモ。」

葉央がボールを受け取ると、トモがにと笑った。

(吉野万理子『白い虹を投げる』〈Gakken〉より)

問一

1 2 に入ることばとして適切なものを次の中からそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

- 1 ア、ぴりつと      イ、がみがみと      ウ、がやがやと      エ、ぼつりと  
2 ア、ぶすつと      イ、はつと      ウ、からつと      エ、ほけつと

問二

( A ) ( B ) に入ることばとして適切なものを次の中からそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

- A ア、ふるえている      イ、とがっている      ウ、はずんでいる      エ、しずんでいる  
B ア、高笑い      イ、苦笑い      ウ、しのび笑い      エ、作り笑い

問三

線部Ⅰ・Ⅱと同じ用法のものを次の中からそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

Ⅰ「の」

- ア、この道を行くと駅に着く。      イ、そこにある青いのが私のかさです。  
ウ、私のノートを貸す。      エ、兄の作ったケーキを食べる。

Ⅱ「そうだ」

- ア、値段が上がるそうだ。      イ、今日は寒くなりそうだ。  
ウ、先生はお元気だそうだ。      エ、これから旅行に行くそうだ。

問四 ――線部X「両手」と同じ成り立ちの熟語を次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア、寒冷      イ、腹痛      ウ、高層      エ、進退

問五 ――線部①「今度の土曜、ペルセウスの練習、見に来る？」とあるが、このようにいったときの葉央のようすとして適切

なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1、野球の練習に来ることがきっかけで仲直りできるかもしれないと、期待している。
- 2、ヤヤからのメッセージにはげまされたので、明るく前向きな気持ちになっている。
- 3、自分がさそってもどうせトモは見に来ないだろうと、投げやりになっている。
- 4、トモがどのような態度をとってきても落ち着いて対応しようと、決意している。

問六 ――線部②「そういうのいらなかったんだな」とあるが、このように思ったときの葉央のようすとして適切なものを次の

中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1、自分が最近困っていたことを解決できたので、ほっとしている。
- 2、無意味な気づかいをしてしまい損をしたと、くやしがっている。
- 3、トモのきげんが直った理由がわからず、なっとくできずにいる。
- 4、ヤヤが仲直りする方法を知っていたことを、不思議がっている。

問七

——線部③「え」とあるが、このようにいったときのお父さんのようすとして適切なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1、三保さんをあわれんだのは失礼だったと気づいて、気持ちがしずみはじめている。
- 2、今まで想像すらしていなかった意外なことをトモにいわれたので、とまどっている。
- 3、自分が話すことにトモがいちいちつかかってくるので、めんどろくなっている。
- 4、歩くのも大変な三保さんと足の手術をしたトモが重なり、気持ちがゆれ動いている。

問八

——線部④「葉央はきき返さなかった」とあるが、それはなぜか。その理由として適切なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1、自分の言い分を今まで話せなかったトモのことが、かわいそうになったから。
- 2、自分の方がお父さんよりも、今のトモの気持ちをわかっていると思ったから。
- 3、トモの話を聞いて思い当たることがあり、そのことについて考えていたから。
- 4、トモの気持ちがわからなくてしんげんに考えはじめ、よゆうがなかったから。

問九

——線部⑤「松葉づえがなくなったとはいえ、まだスポーツはできない。それはかわいそうだ」とあるが、葉央はこれに対するトモの反論を想像している。葉央の考えるトモの反論を説明した次の文の（ ）にあてはまるように、本文中のことばを用いて、二十字以内で答えなさい。

スポーツはできないけれど野球を見に行きたいと思っ（ ）  
（ ）ので、かわいそうではないということ。

問十 — 線部⑥「港斗は頭をかきながらうつむき」とあるが、このときの港斗のようすとして適切なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1、どうしたらチームにとけこんでみんなと仲良くすることができるのか、冷静に考えている。
- 2、チームのみんなや監督が理由も聞かず受け入れてくれたので、自分の行動を反省している。
- 3、別のチームがよいといって出て行ったのにもどってきたので、きまりが悪いと思っている。
- 4、監督が事情を聞かないので、みんなからも何も聞かれないようにするためにごまかしている。

問十一 この文章で、葉央はトモとのかかわりからどのようなことを学んだか。本文中のことばを用いて、四十字以内で答えなさい。

【三】 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

生存戦略を立てる――。

これは、いつの時代であっても私たち生物に課せられた至上命題<sup>注1</sup>です。

ビジネスの世界であれば、成功することも重要ですが、<sup>①</sup>生物にとっては、何よりもまずは生き残ることが最優先課題であり、そのためにはさまざまな戦略を打ち出していかなければなりません。

変化が激しく、急速かつ多種多様なビジネスモデルが入り乱れる今の時代というのは、まさに生物が絶滅と進化を繰り返してきた歴史に似ています。

現在、地球上には870万種以上の生物がいると【A】されていますが、地球46億年の歴史のなかで、幾度となく襲った大きな環境変化のなかで生物は絶滅と進化を繰り返してきました。

今からおおよそ38億年前に生命が海の中で誕生し、5億4000万年前のカンブリア紀に入ると海中の生物は爆発的な進化を遂げ、やがてシダ植物や両生類などが海から地上へと上がり、陸での生活を始めたのが4億4000万年前のシルル紀からデボン紀。3億5000万年前になると地球上の酸素濃度も高くなり、地上には植物が生い繁ったことにより昆虫類が増え、地上に進出した生物たちはさらに進化を遂げて現在に至ります。

こうした生物の歴史である<sup>②</sup>38億年間の生存競争は、実に過酷なものだったということは想像にかたくありません。

たとえば、地球が丸ごと凍ってしまう「スノーボールアース」は3度起こり、そのたびに多くの生物が絶滅してしまいました。

1、「海洋無酸素事変」と呼ばれる海水が著しい貧酸素の状態となる出来事が何度も起き、そのうちの一回では、地球上のおおよそ95パーセントの生物が絶滅したとされます。

さらに、皆さんがよくご存じなのは、6600万年前のジュラ紀の終わりに起きた小惑星の衝突による恐竜の絶滅でしょう。

その後、私たち人間の種の起源となる哺乳類が誕生したのが2億3000万年前、そして現生人類が誕生したのはほんの20万30万年前です。

現在、私たち人類は、こうした厳しい環境変化を経験しながら進化してきた歴史があるのです（参考…JAMSTEC「海と地球を学んじやうコラム」）。

### 食物連鎖の下層にいる生物たちの生存戦略

イワシのような小魚にしても、群れで渦を巻く「トルネード」と呼ばれる形で泳ぐのは、大きな生物に見せかけることで外敵から身を守り、そして大群に紛れることで自分が食べられる確率を減らしているのです。

このように、食物連鎖の下層にいる生物たちは、群になって捕食確率を低減するという生存戦略があるからこそ、今もお絶滅せずに生き残っている「サバイバー」だといえるのです。

こうした生存戦略というのは、現代を生きる私たち人間も同じです。

人間も生物であり、<sup>③</sup>人間がこれまでの歴史のなかで創造してきたビジネスが生物の絶滅と進化と似ているのは、ある意味自然なことなのかもしれません。

予測不能な今の時代に必要なこと、それは生存競争で生き残るための戦略。人間の場合、他の生物にはできない生存戦略があります。それは「もしも〜だったなら？」と頭の中でシミュレーションすること、2 仮説思考なのです。

そして生き残りのためのキーワードは、「第4次産業革命」です。

労働者の半分がAIやロボットに仕事を奪われる!?

第4次産業革命とは、④「IoT（モノのインターネット）」や「AI（人工知能）」「ビッグデータ」の活用によりもたらされる技術革新のこと。第1次産業革命は、18世紀末以降の水力や蒸気機関による工場の機械化、第2次産業革命は、20世紀初頭の分業に基づく電力を用いた大量生産、第3次産業革命は、1970年代初頭からの電子工学や情報技術を用いたオートメーション化。これらに続く技術革新が第4次産業革命なのです。

第4次産業革命には、大きく2つの特徴があります。

一つ目は「IoT（Internet of Things =モノのインターネット）」と「ビッグデータ」です。

個人の健康状況から、気象、交通、工場の機械の稼働まで、あらゆる情報がデータ化され、それらをネットワークでつなげて、解析することで新たな付加価値が生まれています。

二つ目は「AI（Artificial Intelligence =人工知能）」と「ロボット化」です。

人間がコンピュータに対してあらかじめ必要と思われる要素をすべて与えなくても、コンピュータ自らが学習し、さまざまな判断をおこなうことが可能になりました。

加えて、従来のロボット技術もさらに精緻な工作物が可能となり、複雑な工作物の製造もできるようになりました。

こうした技術革新により、これまでのビジネスモデルや私たちの生活のあり方が大きく変化しているのが第4次産業革命です。ここまでは、皆さんもニュースなどでたびたび耳にしているのではないのでしょうか。

**3**、問題はここから先の話になります。

こうした技術革新によって、私たちの未来はどうなっていくのか。ここで必要になってくるのが、あなたが生存戦略を立てるうえで必要な「仮説」というわけです。

実に、⑤さまざまな仮説を立てることができません。ただし、ここで重要なのは、ただ漠然と仮説をたくさん立てるだけでは生存競争で生き残れないということ。

たとえば、第4次産業革命によっていずれ消える仕事と残る仕事とをⅡ綿密な仮説をもとに分析している研究者たちがいるのをご存じでしょうか。

イギリスのオックスフォード大学のカール・フレイ博士とマイケル・オズボーン准教授が2013年に発表した「The Future of Employment 雇用の未来」という論文では、米国労働省が定めた702の職業を、クリエイティブティ、社会性、知覚、細かい動きといった項目ごとに細かく分析しましたが、今後10～20年間に技術革新によりアメリカ国内の労働者の47%が仕事をAIやロボットなどにとって代わられるリスクが高いという結果が出され、世界中の大きな「B」となりました。

「これはアメリカの話でしょ？」と思った方もいるかもしれませんが、日本を分析対象として、2015年に野村総合研究所がフレイ博士とオズボーン准教授との共同研究で国内601種類の職業について、それぞれAIやロボットなどに代替される職業を分析したところ、今後10～20年後には、日本の労働人口の約49%が就業している職業がAIやロボットなどに代替される可能性が高いという、⑥驚きの研究結果がはじき出されたのです。

どんな職業が消え、どんな職業が生き残るのか

産業革命。技術革新。

表向きには、実に聞こえのいい言葉です。4、こうしたイノベーションが私たちの生活を、より便利に、快適にしてくれているからです。

ですが、こうしたイノベーションの裏には必ずといっていいほど、テクノロジーの進化による代替がつきものだということが【C】しておかなければなりません。わかりやすい例として、ここでは音楽流通を取り上げたいと思います。

音楽流通の歴史をたどると、昔はレコードが主流でした。

それがCDの登場によってレコードが廃<sup>すた</sup>り、そしてCDは現在のiTunes<sup>注3</sup>に代表される配信ビジネスに市場の多くを奪われてしまいました。

ここで気になるのは、レコードやCDの制作に携<sup>なま</sup>わっていた人たちはいったいどんな未来を受け入れ、どんな生き方を選んだのか、ということ。それは想像にかたくありません。これが⑦人間社会における生存競争なのです。

(竹内薫『AI時代を生き抜くための仮説脳』(ヘリベラル社)より。一部表記を改めた)

注1・至上命題……ここでは、最優先で取り組むべきことという意味。

注2・イノベーション……技術革新。

注3・iTunes……音楽配信サービスの一つ。

問一

1 4

に入ることはとして適切なものを次の中からそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。(ただし、同じものは使えない。)

- ア、すなわち                      イ、さて                      ウ、あるいは                      エ、なぜなら                      オ、また

問二

線部Ⅰ・Ⅱの本文における意味として適切なものを次の中からそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

Ⅰ「課せられた」

- ア、運命づけられた                      イ、明確に示された

- ウ、おそれられた                      エ、背負わされた

Ⅱ「綿密な」

- ア、本格的な                      イ、信頼できる

- ウ、細かい                      エ、効率がよい

問三

【A】～【C】に入る二字のことばを次の漢字を組み合わせそれぞれ作りなさい。

説話 定関 解題 感得 推理

問四

本文には次の一文がぬけている。どこに入れたらよいか、この直前にくる十字をぬき出しなさい。

そこです、生物の生存戦略の歴史を簡単にひも解きながら、今の時代で企業が生き残るためのヒントを探ってみたいと思います。

問五

——線部①「生物にとっては、何よりもまずは生き残ることが最優先課題であり、そのためにはさまざまな戦略を打ち出していかねばなりません」とあるが、このような「生存戦略」の例を本文中から二十一字で探し、最初の五字をぬき出しなさい。

問六

——線部②「38億年間の生存競争は、実に過酷なものだった」とあるが、その原因となったものを本文中から十五字で探し、最初の五字をぬき出しなさい。

問七

——線部③「人間がこれまでの歴史のなかで創造してきたビジネスが生物の絶滅と進化と似ている」とあるが、どのような点が「似ている」のか。その説明として適切なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1、変化が激しくて急速かつ多種多様なものが入り乱れているために、生存戦略が必要である点。
- 2、予測が不能な時代を生きていく中で、他者にはできない生存戦略を探すことが求められる点。
- 3、常に予測のできない厳しい環境に置かれており、正しい生存戦略を選ぶことが困難である点。
- 4、生きるのが大変な弱い立場に置かれている者ほど、生存戦略を工夫くふうすることが必要になる点。

問八

——線部④「IoT（モノのインターネット）やAI（人工知能）」『ビッグデータ』とあるが、これらによってどのようなことができるようになったのか。それを説明した次の文の（ ）にあてはまるように、本文中のことばを用いて、四十五字以内で答えなさい。

さまざまな情報を（ ）

（ ）こと。

問九

——線部⑤「さまざまな仮説を立てることができません」とあるが、「仮説を立てる」とよいのはなぜか。その説明として適切なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1、「こうなったら、どうなるか」というシミュレーションによってあきらめる人が現れ、競争相手が減るから。
- 2、「こうなったら、どうなるか」というシミュレーションによって未来が明確になるので、安心できるから。
- 3、「こうなったら、どうなるか」というシミュレーションを手あたり次第しだいくり返すことで、答えが見つかるから。
- 4、「こうなったら、どうなるか」というシミュレーションに基づいて、生存戦略を考えられるようになるから。

問十

——線部⑥「驚きの研究結果がはじき出されたのです」とあるが、どのようなことが「驚き」なのか。その説明として適切なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1、仕事をAIやロボットにとって代わられる労働者の割合が、日本とアメリカで全く同じであること。
- 2、日本はアメリカよりも、仕事をAIやロボットにとって代わられてしまう労働者の数が多いこと。
- 3、仕事をAIやロボットにとって代わられるリスクが、アメリカだけでなく日本でも十分にあること。
- 4、日本とアメリカでは存在している仕事は全くちがうのに、なくなりそうな仕事は同じであること。

問十一

——線部⑦「人間社会における生存競争」とあるが、どのようなことか。その説明として適切なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1、テクノロジーの進化による代替で、これまでしていた仕事を失う人々が出てくる可能性があるということ。
- 2、テクノロジーの発展による便利さに慣れた人々が、さらなる便利さを追求して技術革新を進めるということ。
- 3、新しいテクノロジーが登場するたびにそれを学習し共有することで、すべての人が生き残れるということ。
- 4、新しいテクノロジーを使いこなせる人と使いこなせない人との間に、格差が生じるおそれがあるということ。

問十二 本文の内容として合っているものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1、生物には生存戦略があり、地上の生物が進化を遂げたあと海中の生物も爆発的な進化を繰り返した。
- 2、現生人類が誕生する前にも多くの生物の絶滅があり、生物の95%が絶滅するような出来事も起きた。
- 3、第1次から第3次までの産業革命は、工場などの大きな機械による大量生産に関係する革命だった。
- 4、仮説を立てることで絶滅しないように生きてきたのは、人間をはじめとする一部の生物に限られる。

受験番号
氏名

得点
----

(三)

問一	⑤	①
問二		
問三		
問四	⑥	②
問五		
問六		
問七		
問八		
問九		
問十		
問十一		
問十二		
問十三		
問十四		
問十五		
問十六		
問十七		
問十八		
問十九		
問二十		
問二十一		
問二十二		
問二十三		
問二十四		
問二十五		
問二十六		
問二十七		
問二十八		
問二十九		
問三十		
問三十一		
問三十二		
問三十三		
問三十四		
問三十五		
問三十六		
問三十七		
問三十八		
問三十九		
問四十		
問四十一		
問四十二		
問四十三		
問四十四		
問四十五		
問四十六		
問四十七		
問四十八		
問四十九		
問五十		
問五十一		
問五十二		
問五十三		
問五十四		
問五十五		
問五十六		
問五十七		
問五十八		
問五十九		
問六十		
問六十一		
問六十二		
問六十三		
問六十四		
問六十五		
問六十六		
問六十七		
問六十八		
問六十九		
問七十		
問七十一		
問七十二		
問七十三		
問七十四		
問七十五		
問七十六		
問七十七		
問七十八		
問七十九		
問八十		
問八十一		
問八十二		
問八十三		
問八十四		
問八十五		
問八十六		
問八十七		
問八十八		
問八十九		
問九十		
問九十一		
問九十二		
問九十三		
問九十四		
問九十五		
問九十六		
問九十七		
問九十八		
問九十九		
問一百		

(三)

問一	1
問二	2
問三	3
問四	4
問五	
問六	
問七	
問八	
問九	
問十	
問十一	
問十二	
問十三	
問十四	
問十五	
問十六	
問十七	
問十八	
問十九	
問二十	
問二十一	
問二十二	
問二十三	
問二十四	
問二十五	
問二十六	
問二十七	
問二十八	
問二十九	
問三十	
問三十一	
問三十二	
問三十三	
問三十四	
問三十五	
問三十六	
問三十七	
問三十八	
問三十九	
問四十	
問四十一	
問四十二	
問四十三	
問四十四	
問四十五	
問四十六	
問四十七	
問四十八	
問四十九	
問五十	
問五十一	
問五十二	
問五十三	
問五十四	
問五十五	
問五十六	
問五十七	
問五十八	
問五十九	
問六十	
問六十一	
問六十二	
問六十三	
問六十四	
問六十五	
問六十六	
問六十七	
問六十八	
問六十九	
問七十	
問七十一	
問七十二	
問七十三	
問七十四	
問七十五	
問七十六	
問七十七	
問七十八	
問七十九	
問八十	
問八十一	
問八十二	
問八十三	
問八十四	
問八十五	
問八十六	
問八十七	
問八十八	
問八十九	
問九十	
問九十一	
問九十二	
問九十三	
問九十四	
問九十五	
問九十六	
問九十七	
問九十八	
問九十九	
問一百	

(三)

問一	1
問二	2
問三	3
問四	4
問五	
問六	
問七	
問八	
問九	
問十	
問十一	
問十二	
問十三	
問十四	
問十五	
問十六	
問十七	
問十八	
問十九	
問二十	
問二十一	
問二十二	
問二十三	
問二十四	
問二十五	
問二十六	
問二十七	
問二十八	
問二十九	
問三十	
問三十一	
問三十二	
問三十三	
問三十四	
問三十五	
問三十六	
問三十七	
問三十八	
問三十九	
問四十	
問四十一	
問四十二	
問四十三	
問四十四	
問四十五	
問四十六	
問四十七	
問四十八	
問四十九	
問五十	
問五十一	
問五十二	
問五十三	
問五十四	
問五十五	
問五十六	
問五十七	
問五十八	
問五十九	
問六十	
問六十一	
問六十二	
問六十三	
問六十四	
問六十五	
問六十六	
問六十七	
問六十八	
問六十九	
問七十	
問七十一	
問七十二	
問七十三	
問七十四	
問七十五	
問七十六	
問七十七	
問七十八	
問七十九	
問八十	
問八十一	
問八十二	
問八十三	
問八十四	
問八十五	
問八十六	
問八十七	
問八十八	
問八十九	
問九十	
問九十一	
問九十二	
問九十三	
問九十四	
問九十五	
問九十六	
問九十七	
問九十八	
問九十九	
問一百	

とまごのままな情報を

こと。

ので、かわいそうではないということ。